



Tuesday
12/22

健やかに新年を迎えるために

中央校の4年生が七五三縄づくりを体験

中央校4年生85人が総合的な学習の一環として七五三縄づくりを行いました。

旧南部小学校の頃から地域の伝統行事を学ぶ授業として南多久老人会のみなさんの指導で行われていましたが、一貫校になってからは北多久町区長会と、青少年育成市民会議北多久支部のみなさんの協力を受け、現在も受け継がれています。

授業の最初に南多久老人会の野口会長が「七五三縄は病気やけがなど悪い神様を締め出すという意味があり、一年の始め一家の家内安全を祈るために飾ります」と説明しました。

子どもたちは「難しかったけど、楽しかった！玄関に飾ります」と頑張って作っていました。



▲わらを締め上げるのは力がいります！みなさんの協力で、上手にできました☆

実験って楽しい！

第4回多久市おもしろキッズサイエンス開催

Friday
12/25

多久市出身で日本初の工学博士である志田博士の功績を偲び、子どもたちに科学の魅力に触れてもらうため、志田博士の誕生日である12月25日に市内の小学生を対象に科学実験教室「多久市おもしろキッズサイエンス」が開催されました。

4回目の今回は「音の伝わり方」、「スライムを作ろう」、「静電気を体験しよう」、「割れないシャボン玉づくり」、「空飛び種の秘密」の5つの科学実験が2部形式で行われました。約150人の子どもたちがそれぞれ、興味のあるブースに参加し、科学の楽しさに瞳を輝かせていました。

▶のびたり、膨らんだり、カラフルスライム！



▶大空に浮かぶ、巨大なシャボン玉



▶上手に飛んだ「空飛び種」！



▶横市長の質問に元気いっぱいの子どもら



総勢452人が力走！

第53回多久市成人祝賀ロードレース大会開催

Monday
1/11

1月11日成人の日には多久市陸上競技場スタート・ゴールで開催されたロードレース大会。天候にも恵まれた今大会には、小学生から一般男子出場の77歳まで総勢452人が参加。沿道では多くの声援もありました。毎年恒例となった商工会青年部等有志による豚汁の振る舞いも大盛況で参加者をあたたかさで美味しさで魅了しました。

各部門の優勝者は以下のとおりです。(敬称略)

・一般男子 (10km)	出雲 一真 (戸上電機)
・一般女子 (3 km)	池田 佳奈 (ランランラン佐賀)
・40歳以上男子 (5 km)	秋丸 直俊 (佐賀広域消防)
・中学生男子 (5 km)	中野 晃希 (北波多I.R.C)
・中学生女子 (3 km)	堤 麻尋 (多久スポーツピアRC)
・小学生男子 (2 km)	石丸 瑛二 (北波多I.R.C)
・小学生女子 (2 km)	中村 藍 (吉田球友)

▶表彰式の様子

